

[ 様式12-表 ]

第二種奨学金(海外)貸与期間延長願

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり貸与期間の延長を希望いたしますので、引き続き貸与奨学金の継続をお願いします。また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人欄 ※氏名は自署が必要です。原本を郵送にて提出してください。

記入日	(西暦)	年	月	日	生年月日	(西暦)	年	月	日	(満 歳)
奨学生番号					フリガナ					
8		0			氏名	(自署)				
学校名						学部・研究科名				

■願出の内容

(1) 貸与期間 ※貸与期間を延長できるのは、1回限りです。

現行の貸与期間	貸与始期： 20 年 月 ~ 貸与終期： 20 年 月 まで
希望する貸与延長期間	現行の貸与終期の翌月 ~ 20 年 月 まで (注) 延長できる期間は最大で12か月です。また、卒業予定年月を越えて延長することはできません。
休学期間の有無	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ( 年 月 ~ 年 月 まで休学) (注1) いずれかの <input type="checkbox"/> にチェックをつけ、必要事項を記入してください。 (注2) 延長事由が病気療養又はボランティア活動の場合は、休学期間の記入が必須です。

(注) 貸与終期の延長に伴い、保証料月額が変更となります。

(2) 延長事由 ※自己都合による延長は一切認められません。

貸与期間の延長を願出する事由 (該当する事由の <input type="checkbox"/> にチェックをつけ、必要事項を記入してください)	
<input type="checkbox"/> (1) 学校のカリキュラム変更により卒業延期となったため	
<input type="checkbox"/> (2) 傷病により卒業延期となったため (病気療養期間: 年 月 ~ 年 月)	
<input type="checkbox"/> (3) ボランティア活動により卒業延期となったため (活動期間: 年 月 ~ 年 月)	
<input type="checkbox"/> (4) 被災または災害(感染症の影響を含む)に起因する特殊事情により卒業延期となったため	
上記事由の詳細を記入してください (記入必須)	

(3) 借入金額

借入金額 (予定)										円
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※「借入金額」は、貸与終期延長前に予定していた借入金額と、貸与終期を延長することで貸与される金額の合計金額を右詰めで記入してください。採用時に入学時特別増額貸与奨学金を貸与している場合は、当該金額を含めて記入してください(裏面「借入金額の記入例」参照)。  
※借入金額を誤って記入した場合は、裏面「借入金額の訂正方法」に従って訂正してください。

■連帯保証人・保証人記入欄

私は、上記の貸与月額を増額を承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。	
機構届出の連帯保証人	住所 〒 - 氏名 (自署) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実印</span> 電話番号 ( ) 生年月日 (西暦) 年 月 日
私は、上記の貸与月額を増額を承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべき返還未済額の3分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。	
機構届出の保証人	住所 〒 - 氏名 (自署) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実印</span> 電話番号 ( ) 生年月日 (西暦) 年 月 日

(注) 連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)の添付が必要です。機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人変更届」を提出してください。

■親権者又は未成年後見人欄

(本人が未成年者(18歳未満)の場合のみ記入)

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。  
本人が未成年者(18歳未満)の場合は親権者の同意を得てから親権者欄に記入してください。後見人がいる場合は同じく後見人の同意を得た上で記入してください。

親権者又は未成年後見人	(親権者1又は・未成年後見人)	住所 〒 -	電話番号 ( )
	氏名 (自署)		
	(親権者2)	住所 〒 -	電話番号 ( )
	氏名 (自署)		

な機供正  
た関さなご  
のにれ範記  
情提ま囲入  
報供す内い  
がさがにた  
提れ、おだい  
供まそいい  
さすのてた  
され。他、情  
まの当報  
また目該及  
す。的情  
。的情  
。的情  
行に報あ  
政はへな  
機利奨  
関用学  
のの学  
及さ金奨  
びれの学  
公ま返金  
益せ還に  
法ん状関  
人。況する  
等機にる  
か関関情  
ら保す報  
奨証のは  
学加情、  
金入報奨  
の者を学  
重に含金  
複つむ貸  
受い。与  
給てが業  
のは、務  
防、学へ  
止機校返  
等構、還  
のが金業  
た保融  
め有機を  
にす関含  
照る、む  
会個文  
が人部の  
あ情科た  
つ報学め  
たの省に  
場合及利  
合ちび用  
は保業さ  
、証務れ  
適管委ま  
正理託す  
な。先  
範必にこ  
囲要必の  
内な要利  
に情に用  
お報応目  
いがじ  
て保ての  
あ証提適

# [ 様式12-裏 ]

## 添付書類

- 新しい卒業予定年月が記載された在籍証明書（日本語訳添付）
- 延長理由が記載された学校発行の証明書（日本語訳添付）  
※証明書が発行されない場合は、学校担当者（留学アドバイザー等）作成のレターでも可  
※事由により、追加で証明書類の提出を求められることがあります。
- 入学時からの成績証明書（日本語訳添付）  
※延長事由が成績不良でないことを確認します。
- アカデミックカレンダー（学校名、最終試験／授業月に日本語訳添付）
- 連帯保証人の印鑑登録証明書（原本）
- 保証人の印鑑登録証明書（原本）

## 提出期限

- 貸与終了月の3か月前

## 借用金額の記入例

例) 当初の貸与期間：2024年4月～2028年3月（48か月）  
入学時特別増額貸与奨学金：30万円  
貸与月額：10万円  
延長期間：2028年4月～2029年3月（12か月）

### 【計算式】

- |                              |                |            |
|------------------------------|----------------|------------|
| ① 入学時特別増額貸与奨学金：              |                | 300,000円   |
| ② 延長前の借用金額（2024年4月～2028年3月）： | 100,000円×48か月＝ | 4,800,000円 |
| ③ 延長後の借用金額（2028年4月～2029年3月）： | 100,000円×12か月＝ | 1,200,000円 |

①～③の合計 6,300,000円

## 借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

フリガナ	キコウ タロウ
氏名	機構 太郎 (奨学)

- ② 金額全体（1円の単位までのすべての数字）を二重線で消す。一部訂正不可。

借用金額 (予定)	<del>6 2 0 0 0 0 0</del> 円
--------------	----------------------------

- ③ 二重線の上から、本人印（本人署名横同一印）、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。  
※それぞれの印が重ならないように押印してください。

借用金額 (予定)	<del>6 2 0 0 0 0 0</del> 円
	(奨学) (一奨) (明機)
	本人 連帯保証人 保証人

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

借用金額 (予定)	6 3 0 0 0 0 0 円
	(奨学) (一奨) (明機)
	本人 連帯保証人 保証人